

第 22 期 計 算 書 類

〔 自 平成 18年 3月 1日 〕
〔 至 平成 19年 2月 28日 〕

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

千葉県浦安市舞浜1番地8号

株式会社 ホテルオークラ東京ベイ

貸借対照表

(平成19年2月28日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	606,814	流動負債	1,374,185
現金及び預金	163,294	買掛金	148,084
売掛金	253,662	短期借入金	353,000
貯蔵品	58,672	1年以内に返済予定の 長期借入金	180,000
前払費用	95,978	1年以内に支払予定の 割賦未払金	82,037
繰延税金資産	32,024	未払法人税等	61,733
その他流動資産	3,434	未払消費税等	10,629
貸倒引当金	250	未払金	117,187
		未払費用	296,414
		前受金	67,613
		預り金	4,744
固定資産	1,928,136	賞与引当金	39,600
有形固定資産	1,093,461	ポイント引当金	11,611
		その他流動負債	1,527
建物	639,480		
附帯設備	192,805	固定負債	1,077,646
構築物	8,447		
機械装置	98	長期借入金	340,000
車両運搬具	85	長期未払金	213,076
器具備品	252,543	長期割賦未払金	131,495
		長期預り敷金	14,796
		退職給付引当金	369,844
		役員退職慰労引当金	8,433
無形固定資産	29,871	負債合計	2,451,831
ソフトウェア	23,093		
電話加入権	6,778	純資産の部	
投資その他の資産	804,802	株主資本	83,119
差入敷金保証金	642,020	資本金	2,940,000
長期前払費用	8,957	利益剰余金	2,856,880
繰延税金資産	152,975	その他の利益剰余金	2,856,880
その他の投資	22,700	繰越利益剰余金	2,856,880
貸倒引当金	21,849		
		純資産合計	83,119
資産合計	2,534,951	負債及び純資産合計	2,534,951

損益計算書

(自平成18年3月1日 至平成19年2月28日)

(単位:千円)

売上高 宿泊売上 料飲売上 その他の売上	4,078,403 2,684,622 77,737	6,840,763
売上原価 宿泊材料費 料飲材料費 その他材料費	727,773 978,903 9,204	1,715,881
売上総利益 販売費及び一般管理費	4,936,827	5,124,882 4,936,827
営業利益 営業外収益 受取利息 その他営業外収益	188,054 4 35	188,054 40
営業外費用 支払利息	29,077	29,077
経常利益		159,017
特別損失 固定資産除却損 その他の特別損失	10,714 15,968	26,682
税引前当期純利益 法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額	84,555 8,183	132,335 76,372
当期純利益		55,963

個別注記表

(自平成 18 年 3 月 1 日 至平成 19 年 2 月 28 日)

1. 重要な会計方針

貯蔵品の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定額法

無形固定資産……定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

引当金の計上基準

貸倒引当金……債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金……従業員賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期対応分を計上しております。

退職給付引当金…従業員の退職金の支出に備えるため、当期末における自己都合要支給見込額の10%相当額を計上しております。

役員退職慰労引当金…

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当事業年度末要支給額を役員退職慰労引当金として計上しております。

ポイント引当金…顧客に付与されたポイントの使用による費用発生に備えるため、使用実績率に基づき利用されると見込まれるポイントに対しポイント引当金を計上しております。

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております

消費税等の会計処理

税抜処理によっております。

会計方針の変更

・固定資産の減損に係る会計基準

当事業年度から「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。これに伴う損益に与える影響はありません。

・貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準

当事業年度から、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。

従来の資本の部の合計に相当する金額は83,119千円であります。

・役員退職慰労引当金の設定

当社の役員退職慰労金は、従来、支出時の費用として処理しておりましたが、当事業年度より内規に基づく事業年度末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更いたしました。

この変更は、近年の役員退職慰労引当金計上が会計慣行として定着しつつあることを踏まえ、期間損益の適正化および財政内容の健全化を図るため、役員退職慰労金を役員の在任期間にわたって合理的に費用配分するためのものであります。

この変更により、当事業年度の発生額2,200千円は販売費及び一般管理費へ、過年度分相当額6,233千円は特別損失に計上し、その結果、従来と同一の方法を採用した場合と比べ、営業利益、経常利益はそれぞれ2,200千円減少、税引前当期純利益は8,433千円減少しております。

2. 貸借対照表関連注記

担保に供している資産	差入敷金保証金	642,000千円
有形固定資産の減価償却累計額		1,586,126千円
関係会社に対する金銭債権、金銭債務		
株式会社ホテルオークラ	短期金銭債務	85,429千円

3. 税効果会計関連注記

繰延税金資産および繰延税金負債の発生 of 主な原因別の内訳

繰延税金資産

流動資産

未払事業税	7,127 千円
賞与引当金	16,014 千円
ポイント引当金	4,695 千円
その他	4,186 千円
合計	32,024 千円

固定資産

退職給与引当金	149,565 千円
役員退職慰労引当金	3,410 千円
合計	152,975 千円

4. 関連当事者との取引に関する注記

株式会社ホテルオークラ（当社のその他の関係会社）

- ・当該関連当事者が有する当社の議決権の割合 27.21%
- ・当社が有する当該関連当事者の議決権の割合 - %
- ・取引の内容と取引金額

ホテルの運営委託契約に基づく受託者としての経営指導料ほか 264,507 千円

- ・取引条件および取引条件の決定方法

運営委託契約は平成 13 年 10 月 1 日付締結（相対契約）

- ・取引により発生した債務

未払費用 85,429 千円

株式会社オリエンタルランド（当社の主要株主）

- ・当該関連当事者が有する当社の議決権の割合 14.29%
- ・当社が有する当該関連当事者の議決権の割合 - %
- ・取引の内容と取引金額

売上 10,167 千円

TDR オフィシャルホテル契約に基づくオフィシャルホテル料ほか 22,056 千円

- ・取引条件および取引条件の決定方法

TDR オフィシャルホテル契約は平成 16 年 4 月 1 日付締結

- ・取引により発生した債務

未払費用他 28,291 千円

5. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	1,413円60銭
1株当たり当期純利益	951円75銭

注1 1株当たり当期純利益算定上の基礎

普通株式に係る当期純利益

1. 損益計算上の当期純利益	55,963千円
2. 普通株主に帰属しない金額	千円

普通株式の期中平均株式数

6. 追加情報

顧客に付与されたポイントの使用による費用発生に備えるため、使用実績率に基づき翌期以降に利用されると見込まれるポイントに対し当事業年度よりポイント引当金を計上しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して営業利益、経常利益は1,875千円それぞれ減少、税引前当期純利益は11,610千円減少しております。

7. その他の注記

千円未満の記載は、千円未満を切り捨てて表示しております。